



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンドラッグ

コード番号 9989 URL <http://www.sundrug.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才津 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤尾 主哉

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 042-369-6211

平成23年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	190,268	7.4	10,683	18.4	10,954	18.0	6,128	31.0
23年3月期第2四半期	177,083	40.6	9,026	10.2	9,281	10.9	4,678	△3.7

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 6,119百万円 (31.3%) 23年3月期第2四半期 4,659百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	97.25	—
23年3月期第2四半期	74.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	146,080	57.0	83,227	57.0	57.0
23年3月期	140,009	55.9	78,242	55.9	55.9

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 83,227百万円 23年3月期 78,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	18.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	8.1	21,240	10.4	21,780	10.0	12,320	13.3	195.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	67,165,592 株	23年3月期	67,165,592 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,142,217 株	23年3月期	4,142,056 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	63,023,435 株	23年3月期2Q	63,023,635 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に加え、福島第1原子力発電所の事故の影響により一時停滞いたしました。被災地の復興需要や生産活動の復旧により緩やかな回復基調となりました。個人消費におきましても、雇用情勢に大きな改善は見られないものの、復興需要や防災対策・節電に伴う関連商品などが好調に推移するなど、緩やかな持ち直しの動きとなりました。しかしながら、円高や海外経済への不安要因など経済に対する先行きは不透明な状況のままとなっております。

ドラッグストア業界におきましては、同業他社による積極的な出店や価格競争に加え、他業種からの参入も徐々に増加し、更に厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き、「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、お客様のニーズに応える質の高い出店やサービスレベルの向上、更にシステム統合によるグループ会社間の情報の共有化を進めるとともに、新業態の開発や積極的な店舗改装などに取り組み、活性化を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの新規出店は、直営店で16店舗、子会社の(株)星光堂薬局で1店舗、同じく子会社のダイレックス(株)で7店舗の合計24店舗を開設し、既存店におきましては、直営店で1店舗、ダイレックス(株)で1店舗のスクラップ&ビルドを実施したほか、(株)サンドラッグファーマシーズで1店舗、ダイレックス(株)で1店舗を閉店いたしました。更に直営店で21店舗、ダイレックス(株)で22店舗の店舗改装を実施し活性化を図りました。また、フランチャイズ店につきましては、3店舗の新規契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高1,902億68百万円(前年同期比7.4%増)、連結営業利益106億83百万円(同18.4%増)、連結経常利益109億54百万円(同18.0%増)、連結四半期純利益61億28百万円(同31.0%増)となり増収・増益となりました。

セグメント業績の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業は、震災及び原発事故の影響などにより高単価の化粧品等は苦戦したものの、春先の花粉症関連商材が好調に推移したことに加え、電力不足による節電対策関連品や夏場の季節品等が好調に推移した結果、既存店売上高は前年を上回り、粗利益の改善を図るとともに、販促の効率化や節電による光熱費の圧縮などに努めた結果、売上高1,494億71百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益94億4百万円(同16.9%増)となり増収・増益となりました。

<ディスカウントストア事業>

ディスカウントストア事業は、震災の影響により、一時的に商品の品薄の影響を受けましたが、ドラッグストア事業同様、節電対策関連品や夏場の季節品等が好調に推移したことに加え、引き続き戦略的に店舗改装を実施し、大型家電の縮小や医薬品の導入による粗利益の改善を図るとともに、販促の見直しに努めた結果、売上高501億76百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益12億79百万円(同30.6%増)となり増収・増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ60億71百万円増加し、1,460億80百万円となりました。主な要因は、店舗数の増加による商品及び有形固定資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億86百万円増加し、628億53百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ49億84百万円増加し、832億27百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、1.1ポイント増加し、57.0%となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億15百万円増加し、199億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、64億47百万円(前年同期比5億19百万円増、8.8%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が107億42百万円となりましたが、法人税等の支払額が41億94百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、37億83百万円(前年同期比16億68百万円増、78.9%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が前年同期比12億41百万円増の31億71百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、18億48百万円(前年同期比8億35百万円減、31.1%減)となりました。これは主に、配当金の支払額が、前年同期比1億88百万円増の11億33百万円あったこと、借入金の返済による支出が、前年同期比7億23百万円減の24億93百万円、借入金の調達が前年同期比3億円増の18億円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更ありません。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・市場動向の急激な変化
- ・当社出店エリアにおける立地条件及び周辺環境の変化
- ・天候及び季節的な要因及び自然災害による変動

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

・退職給付引当金

当社及び当社の連結子会社である株式会社サンドラッグファーマシーズは、平成23年4月1日付で適格退職年金制度を廃止し、確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行しております。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

なお、本移行により、特別利益(退職給付制度終了益)として35百万円計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,094	19,916
売掛金	7,143	7,329
商品	41,953	45,878
原材料及び貯蔵品	65	56
その他	12,493	12,776
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	80,742	85,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,879	18,879
その他(純額)	11,953	12,100
有形固定資産合計	29,833	30,979
無形固定資産		
のれん	1,762	1,469
その他	4,090	4,079
無形固定資産合計	5,853	5,548
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,673	13,935
その他	9,911	9,732
貸倒引当金	△3	△62
投資その他の資産合計	23,580	23,605
固定資産合計	59,267	60,133
資産合計	140,009	146,080

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,689	38,733
短期借入金	3,387	4,387
未払法人税等	4,364	4,708
役員賞与引当金	—	41
ポイント引当金	1,420	1,602
その他	7,232	6,539
流動負債合計	53,093	56,012
固定負債		
長期借入金	4,083	2,390
退職給付引当金	655	678
役員退職慰労引当金	232	242
資産除去債務	1,632	1,710
その他	2,069	1,818
固定負債合計	8,673	6,840
負債合計	61,766	62,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,409	7,409
利益剰余金	73,748	78,742
自己株式	△3,601	△3,602
株主資本合計	81,486	86,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	12
土地再評価差額金	△3,266	△3,266
その他の包括利益累計額合計	△3,243	△3,253
純資産合計	78,242	83,227
負債純資産合計	140,009	146,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	177,083	190,268
売上原価	137,182	146,672
売上総利益	39,901	43,595
販売費及び一般管理費	30,875	32,911
営業利益	9,026	10,683
営業外収益		
受取利息	50	50
受取配当金	9	4
固定資産受贈益	85	165
受取手数料	74	34
その他	63	33
営業外収益合計	282	288
営業外費用		
支払利息	23	15
その他	3	2
営業外費用合計	26	17
経常利益	9,281	10,954
特別利益		
違約金収入	14	—
受取保険金	—	38
退職給付制度終了益	—	35
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	0	1
特別利益合計	15	74
特別損失		
固定資産除却損	10	55
賃貸借契約解約損	27	66
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	623	—
減損損失	141	62
災害による損失	—	54
その他	29	47
特別損失合計	833	286
税金等調整前四半期純利益	8,464	10,742
法人税等	3,785	4,614
少数株主損益調整前四半期純利益	4,678	6,128
四半期純利益	4,678	6,128

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,678	6,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△9
その他の包括利益合計	△19	△9
四半期包括利益	4,659	6,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,659	6,119
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,464	10,742
減価償却費	1,941	2,261
減損損失	141	62
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33	23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	58
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	37	41
ポイント引当金の増減額(△は減少)	90	182
受取利息及び受取配当金	△59	△55
支払利息	23	15
固定資産除却損	10	55
受取保険金	—	△38
売上債権の増減額(△は増加)	5	△186
たな卸資産の増減額(△は増加)	△917	△3,914
未収入金の増減額(△は増加)	△535	△163
仕入債務の増減額(△は減少)	△478	2,044
未払消費税等の増減額(△は減少)	207	△633
その他	685	107
小計	9,663	10,614
利息及び配当金の受取額	10	1
利息の支払額	△21	△12
保険金の受取額	—	38
法人税等の支払額	△3,724	△4,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,927	6,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,929	△3,171
無形固定資産の取得による支出	△64	△119
貸付けによる支出	△50	△463
貸付金の回収による収入	11	25
敷金及び保証金の差入による支出	△261	△116
敷金及び保証金の回収による収入	129	98
その他	48	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△3,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,500	1,800
短期借入金の返済による支出	△1,500	△800
長期借入金の返済による支出	△1,716	△1,693
配当金の支払額	△946	△1,133
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△21	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,684	△1,848
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,128	815
現金及び現金同等物の期首残高	12,631	19,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,760	19,905

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,955	46,127	177,083	—	177,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,349	126	5,476	△5,476	—
計	136,305	46,253	182,559	△5,476	177,083
セグメント利益	8,042	979	9,021	4	9,026

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,107	50,161	190,268	—	190,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,364	15	9,379	△9,379	—
計	149,471	50,176	199,648	△9,379	190,268
セグメント利益	9,404	1,279	10,684	△0	10,683

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。